

事業所における自己評価総括表

○事業所名	どすこい王寺町部屋		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 10日		2025年 1月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 4
○従業者評価実施期間	2024年 12月 9日		2024年 12月 16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動場所が森であること	感覚統合の視点から、平面は最小限に留め、舗装も行っていない。落ち葉の上、雨上がりのぬかるみ、季節や天候によって環境は大きく変わります。自然の変化を体で感じながら、感覚統合の土台作りや発達させるために最適な環境です。	森での日々の活動がどのように利用者様の療育に役立っているのかをスタッフ自身がより多くの知識を持ったうえで支援を行い、保護者様に伝えることができるよう、外部の研修受講、内部研修の充実を図ります。
2	吉川ロジスティクスグループのサポートがあること	吉川ロジスティクスグループの一員である株式会社どすこいは、グループのサステナブル事業を推進しており、その中で児童発達支援と放課後等デイサービスの活動を行っています。特に経営面でのサポートをいただき、スタッフ数が充実しています。また定期的に運転手の安全講習を実施し、安全面の強化ができております。	引き続き、経営面、安全面でのサポートをいただくため連携を図ります。
3	個別支援計画の確認、支援方針の共有、毎日の支援前の打ち合わせをし、支援に落とし込み実施するまでの流れができていくこと	モニタリング前の聞き取り、担当者会議の実施、個別支援計画の確認、支援方針の共有、支援前の打ち合わせでの支援方針の確認、支援への落とし込み、振り返りの流れが毎月、毎日のルーティンとなり、全スタッフが利用者様一人ひとりの支援目標を把握することができています。	モニタリング前のスタッフからの聞き取り、担当者会議などにおいて、一部スタッフだけでなく経験の少ないスタッフも発言できるよう、スタッフのスキルアップを図り、スタッフの層の厚さが増すよう努めます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動場所が森であり、とても広い環境(陽楽の森第3ゾーン1.7ha)なので、保護者様の視点からは「職員の配置は適切であるか」という点に対して不安を抱いておられること	利用者10名に対して、5~6名のスタッフを配置しています。3Dシステムを採用し、プログラムディレクターとマネージメントディレクターが、流動的な利用者様の動きに合わせてスタッフを随時配置しています。またタイムキーパーが15分毎に人数確認を呼びかけ、全スタッフで確認しています。その取り組みが認知されておらず、保護者様が「職員の配置」が適切であるか判断できず「わからない」と答えておられるかと思われます。	1年間に約10回の「オープンフィールド」において、ご家族様が支援の様子を見ることが出来ます。その際には、利用者様の日頃の様子はもちろん、スタッフの日頃の動きも見ていただいているので、そこで「職員の配置は適切であるか」判断していただければと思います。引き続き、オープンフィールドを開催し続け、一度も参加されていないご家族様にも参加していただけるような工夫をしていきます。
2	「地域の子供と活動する機会について」保護者様に周知が出来ていないこと	保護者様からの評価において、「保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか」という設問が「はい」が一番少なかったのは、具体的に「保育所や認定こども園、幼稚園等との交流をしていないこと」と、地域の子供たちと交流していることを周知できていないことが原因だと思われます。	現在も、米や麦を育てている田んぼの横、尼寺廃寺跡史跡公園では、地域の子供も木登りや鬼ごっこをする機会があります。また、夏季に出掛ける祈りの滝ではご家族で遊びに来られた子ども達と水遊びや沢がに探しを、矢田山遊びの森ではザリガニ釣りを教えてあげるなど特別に設けた機会ではありませんが、お互いに声を掛け、自然と一緒に活動していますし、1年に1、2回ではありますが、事業所近隣の達磨寺で行われるマルシェに参加しています。特別に「交流会」という形ではなく遊びの中で自然に関わる機会はたくさんありますが、SNSでの公開については、お相手の許可を取ることとはしてないので、周知できていません。利用者様一人ひとりの連絡帳では伝えさせてもらうことはあります。今後は、お相手にSNS掲載の許可を取ることを念頭に置き、許可が取れた際にはSNSにて公開します。
3	避難訓練実施の周知が出来ていないこと	避難訓練については、スタッフ間でマニュアルの確認や避難訓練を実施しています。しかし、利用者様と一緒に避難訓練は行えていませんでした。	今後は、利用者様と一緒に避難訓練を行います。利用申し込みの段階で避難訓練の実施日を周知し、実施した後もSNSを通して周知します。